

## 広島大学技術センターの活動に理解を願う



技術統括 岩谷 秀秋

平成16年4月、技術センターが誕生した初年度は、全学技術職員の情報共有化、学外研修の充実、安全衛生講習会や技術センター研修会の開催、各種ワーキンググループの立ち上げなど、人材育成につながる事業活動が動き始めました。2年目となる平成17年度に至って新しい事業が活発に展開し始め、本学ならびに学外に対して、技術センターをより良く理解していただけるように、技術センターのホームページを充実させ、またパンフレットを作製し配布することにより、一層の周知を図りました。

広島大学では平成18年度より各分野の教育を向上させるため、それぞれの段階での到達目標を明確にした「到達目標型教育」の実現を目指す「教育プログラム」が実施されます。刷新を求める国立大学法人化後の本学で、技術センターとしては、教育・研究技術支援の環境を整備し、幅広い分野での活性化を図り、「教育プログラム」に対応した技術支援活動、特に人材の育成に精力的に取り組むことが必要となります。

さて、技術センターの職員が配属されている職場に目を向けると、環境の異なる色々な場所で多岐にわたる業務を遂行しています。一日一日と誠実に業務を重ねる中で、体で仕事の要諦をつかんでこられた技術職員の終始一貫した努力があってこそ、多様化・複雑化の進む教育・研究活動への技術支援が可能となっています。

技術センターとしては、一隅を照らす技術職員の想いを真摯に受けとめ、やる気意識を高められる快適な職場環境作りのために技術職員の皆さんとともに努力し、教育・研究に対する技術支援業務のノウハウを共有化することにより、近い将来、広島大学全体を照らす組織へと発展していきたいと思いをします。

今後とも技術センターの活動にご支援ならびにご理解をよろしくお願い申し上げます。

平成18年3月